

# 令和 8 年度 名古屋市職員採用試験

## < 試験日程について >

名古屋市人事委員会事務局任用課

2026年 1 月21日公表





## 令和8年度 名古屋市職員採用試験日程

■ 各試験・選考の詳細（試験区分・受験年齢・筆記試験の実施方法など）は、次ページ以降をご覧ください。

実施時期	試験名称	案内公表日	申込期間
春実施試験	・ 第1類採用試験	3/2(月)	3/2(月)～3/23(月)
夏実施試験	・ 第1類採用試験 ・ 免許資格職採用試験 ・ 高等専門学校卒業者採用試験	4/20(月)	4/20(月)～5/12(火)
秋実施試験	・ 第1類採用試験 ・ 第2類採用試験 ・ 行政実務経験者採用選考 ・ 障害者を対象とした採用選考	7/1(水)	7/1(水)～7/22(水)
冬実施試験	・ 第1類採用試験 ・ 職務経験者採用選考	9/1(火)	9/1(火)～9/24(木)

※ 名古屋市人事委員会が実施する採用試験・選考は、試験区分や受験の有無に関わらず、当該年度にいずれか1つしか申し込むことはできません。

ただし、「障害者を対象とした採用選考」及び「高等専門学校卒業者採用試験」など、名古屋市人事委員会が別に定めるものについては併願可能です。

※ 実施される試験区分等は変更となる場合があります。詳細(試験区分、受験資格、試験科目、申込方法等)は、各試験・選考案内で必ずご確認ください。



# 令和8年度 名古屋市職員採用試験日程（春実施試験）

【案内公表日】 3/2(月)

【申込期間】 3/2(月)～3/23(月)

【申込方法】 インターネット

試験名称	採用時年齢等 (R9.4.1時点)	試験区分		筆記試験	面接試験等	最終合格発表
第1類採用試験	22～25歳	事務	行政、行政(教養型)、情報	5/10(日)	6月上旬～7月上旬	7月下旬
		技術	土木、建築、機械、電気	【SPI3受検期間】 3/31(火)～4/13(月) テストセンター方式 + 【専門試験 実施日】 5/10(日)	5月下旬～6月上旬	6月中旬

試験名称	採用時年齢等 (R9.4.1時点)	試験区分		筆記試験	面接試験等	最終合格発表
第1類採用試験 (適性検査型)	22～25歳	事務	行政	【SPI3受検期間】 3/31(火)～4/13(月) テストセンター方式	4月下旬～5月下旬	6月上旬
		技術	土木、建築、機械、電気		5月中旬～5月下旬	
	26～39歳 社会人枠	事務	行政、情報		5月下旬～7月上旬	7月下旬
		技術	土木、建築、機械、電気		5月中旬～5月下旬	6月上旬

※ 名古屋市人事委員会が実施する採用試験・選考は、試験区分や受験の有無に関わらず、当該年度にいずれか1つしか申し込むことはできません。  
 ただし、「障害者を対象とした採用選考」及び「高等専門学校卒業者採用試験」など、名古屋市人事委員会が別に定めるものについては併願可能です。  
 ※ 実施される試験区分等は変更となる場合があります。詳細(試験区分、受験資格、試験科目、申込方法等)は、各試験・選考案内で必ずご確認ください。



# 令和8年度 名古屋市職員採用試験日程（夏実施試験）

【案内公表日】 4 / 20(月)      【申込期間】 4 / 20(月)～ 5 / 12(火)      【申込方法】 インターネット

試験名称	採用時年齢等 (R9.4.1時点)	試験区分		筆記試験	面接試験等	最終合格発表
第 1 類採用試験	22～39歳	事務	社会福祉、心理	6/21(日)	7月中旬～8月中旬	8月下旬
		技術	応用化学、造園			
		—	研究、学校事務、消防			
免許資格職 採用試験	22～39歳	—	管理栄養			
	20～39歳	—	保育			

試験名称	採用時年齢等 (R9.4.1時点)	試験区分		筆記試験	面接試験等	最終合格発表
第 1 類採用試験 (適性検査型)	22～39歳	—	消防	【SPI3受検期間】 5/22(金)～6/4 (木) テストセンター方式	6月下旬～8月中旬	8月下旬
免許資格職採用試験 (適性検査型)	22～39歳	—	衛生、獣医		6月下旬～7月中旬	7月下旬
高等専門学校 卒業生採用試験	20～21歳	技術	土木、建築、機械、電気			

- ※ 名古屋市人事委員会が実施する採用試験・選考は、試験区分や受験の有無に関わらず、当該年度にいずれか 1 つしか申し込むことはできません。  
 ただし、「障害者を対象とした採用選考」及び「高等専門学校卒業生採用試験」など、名古屋市人事委員会が別に定めるものについては併願可能です。
- ※ 実施される試験区分等は変更となる場合があります。詳細(試験区分、受験資格、試験科目、申込方法等)は、各試験・選考案内で必ずご確認ください。



# 令和8年度 名古屋市職員採用試験日程（秋実施試験）

【案内公表日】 7/1(水)

【申込期間】 7/1(水)～7/22(水)

【申込方法】 インターネット

試験名称	採用時年齢等 (R9.4.1時点)	試験区分		筆記試験	面接試験等	最終合格発表
第1類採用試験 (適性検査型)	26～39歳 社会人枠	技術	土木、建築、機械、電気	【SPI3受検期間】 <b>8月上旬頃</b> テストセンター方式	9月上旬～9月中旬	10月上旬
第2類採用試験	18～21歳	事務	行政	<b>9/27(日)</b>	10月下旬～11月上旬	11月中旬
		技術	土木、建築、機械、電気		10月中旬	10月下旬
		－	学校事務、消防		10月下旬～11月上旬	11月中旬
行政実務経験者 採用選考	係員級 26～39歳	事務	行政	<b>書類審査</b>	9月上旬～9月中旬	10月上旬
		技術	土木、建築、機械、電気			
	主任級 40～62歳	事務	行政			
		技術	土木、建築、機械、電気			
	課長補佐級 ～62歳	事務	行政			
		技術	土木、建築、機械、電気			
障害者を対象と した採用選考	18～45歳	事務	行政（高校卒業程度）	<b>9/20(日)</b>	10月下旬～11月下旬	12月上旬
	22～45歳	事務	行政（大学卒業程度）			

※ 名古屋市人事委員会が実施する採用試験・選考は、試験区分や受験の有無に関わらず、当該年度にいずれか1つしか申し込むことはできません。

ただし、「障害者を対象とした採用選考」及び「高等専門学校卒業生採用試験」など、名古屋市人事委員会が別に定めるものについては併願可能です。

※ 実施される試験区分等は変更となる場合があります。詳細(試験区分、受験資格、試験科目、申込方法等)は、各試験・選考案内で必ずご確認ください。

※ 障害者を対象とした採用選考は、インターネットまたは郵送のいずれかの申込方法を選択可能です。詳細は、案内公表日以降に選考案内でご確認ください。



# 令和8年度 名古屋市職員採用試験日程（冬実施試験）

【案内公表日】 9/1(火)

【申込期間】 9/1(火)～9/24(木)

【申込方法】 インターネット

試験名称	採用時年齢等 (R9.4.1時点)	試験区分		筆記試験	面接試験等	最終合格発表
第1類採用試験 (適性検査型)	22～25歳	技術	土木、建築、機械、電気	【SPI3受検期間】 <b>10月上旬頃</b> テストセンター方式	11月上旬～11月中旬	11月下旬
	26～39歳 社会人枠	事務	行政		11月上旬～12月上旬	12月下旬
		技術	土木、建築、機械、電気		11月上旬～11月中旬	11月下旬

試験名称	採用時年齢等 (R9.4.1時点)	試験区分		筆記試験	面接試験等	最終合格発表
職務経験者 採用選考	主任級 40～62歳	事務	行政、社会福祉、心理	【SPI3受検期間】 <b>10月下旬頃</b> テストセンター方式	11月下旬～12月中旬	12月下旬
		技術	土木、建築、機械、電気			
		—	学校事務、保育			

- ※ 名古屋市人事委員会が実施する採用試験・選考は、試験区分や受験の有無に関わらず、当該年度にいずれか1つしか申し込むことはできません。  
 ただし、「障害者を対象とした採用選考」及び「高等専門学校卒業生採用試験」など、名古屋市人事委員会が別に定めるものについては併願可能です。
- ※ 実施される試験区分等は変更となる場合があります。詳細(試験区分、受験資格、試験科目、申込方法等)は、各試験・選考案内で必ずご確認ください。

# 令和 8 年度 名古屋市職員採用試験 ＜ 変更点について ＞

名古屋市人事委員会事務局任用課

2026年 1 月21日公表





## 変更点の概要について

変更点の概要は、以下のとおりです。次ページ以降の資料もあわせてご覧ください。  
1月21日時点の内容です。詳細は、案内公表日以降に各試験・選考案内を必ずご確認ください。

### ■ 適性検査（SPI3）をテストセンター方式で実施

- ・ 受検期間（2週間程度）のうち、都合の良い日時・会場を選択して受検が可能です。

### ■ 適性検査（SPI3）を導入する試験区分を拡大

- ・ 「消防」「衛生」「獣医」のほか、「職務経験者採用選考」などにも新たに導入します。

### ■ 行政実務経験者採用選考の対象者を拡大

- ・ 主任級及び課長補佐級に加えて「係員級」の選考区分を新設します。
- ・ 行政実務経験の対象は、国、都道府県及び政令指定都市に加えて、「中核市」と「東京都特別区」も対象となります。

### ■ 「高等専門学校卒業者採用試験」を新設

- ・ 技術職の人材確保を図るため、高等専門学校卒業者を対象とした試験を新設します。

### ■ 「障害者を対象とした採用選考(大学卒業程度)」を新設

- ・ 障害者を対象とした採用選考に大学卒業程度の試験区分を新設します。
- ・ 高校卒業程度の試験区分も従来どおり実施します。





## 適性検査(SPI3) をさらに活用し、より受験しやすい試験となります！

### ■ 適性検査（SPI3）をテストセンター方式で実施

- ・ 受験期間（2週間程度）のうち、日時・会場を選択して受験可能となります。  
→ 各受験者が**都合の良い日時や会場を選択できる**ため、利便性が高まり、受験しやすくなります。
- ・ テストセンター会場は、全国主要都市に設置されるリアル会場と、自宅等のオンライン会場から選択可能です。  
→ 最寄りの会場や自宅等でも受験が可能となり、**名古屋市以外にお住まいの方も受験しやすくなります**。
- ・ 過去1年以内に適性検査(SPI3)をテストセンター方式で受験したことがある方は、前回結果の送信も可能です。  
→ 新たに受験する必要がないため、民間企業等への就職・転職活動を考えている方も、受験しやすくなります。

### < 適性検査(SPI3) の実施方法の変更について >

令和7年度	
実施方法	ペーパーテスト方式
日時	名古屋市が指定した1日
会場	名古屋市が指定した会場 (名古屋市内の大学等)
結果の活用	不可



令和8年度	
実施方法	テストセンター方式
日時	各受験者が選択した日時
会場	各受験者が選択した テストセンター会場
結果の活用	前回の受験結果を活用可能



## 適性検査(SPI3) をさらに活用し、より受験しやすい試験となります！

### ■ 適性検査（SPI3）を導入する試験区分を拡大

- 第1類（大学卒業程度）の事務（行政・情報）の一部と、技術4区分（土木・建築・機械・電気）に加えて、第1類の「消防（適性検査型）※」と、免許資格職の「衛生」「獣医」にも、適性検査（SPI3）を導入します。

※ 第1類（消防）も従来どおり実施します。第1次試験を教養試験と適性検査(SPI3)から選択して受験可能となります。

- 「職務経験者採用選考」や、新設する「高等専門学校卒業生採用試験」にも「適性検査（SPI3）」を導入します。

### ＜ 適性検査(SPI3テストセンター方式)を導入する試験区分 ＞

採用試験の名称	採用時年齢等 (R9.4.1時点)	試験区分
第1類採用試験	22～25歳	土木、建築、機械、電気
第1類採用試験（適性検査型）	22～25歳	行政、土木、建築、機械、電気
	26～39歳	行政、情報、土木、建築、機械、電気
	22～39歳	消防
免許資格職採用試験（適性検査型）	22～39歳	衛生、獣医
高等専門学校卒業生採用試験	20～21歳	土木、建築、機械、電気
職務経験者採用選考	主任級 40～62歳	行政、社会福祉、心理、土木、建築、 機械、電気、学校事務、保育

→ 専門試験あり(別日程)

筆記試験は  
適性検査  
(SPI3)のみ



## 行政実務経験者採用選考の対象者を拡大します！

### ■ 係員級の選考区分を新設

- ・主任級及び課長補佐級に加えて、新たに「**係員級**」の選考区分を新設

### ■ 行政実務経験の対象範囲を拡大

- ・国、都道府県及び政令指定都市に加えて、新たに「**中核市**」と「**東京都特別区**」を追加

職 種	行政、土木、建築、機械、電気		
任用段階	係員級	主任級	課長補佐級
採用時年齢 (R9.4.1時点)	26歳以上39歳以下	40歳以上62歳以下	62歳以下
行政実務経験 の対象	国、都道府県、政令指定都市※1、 <b>中核市</b> ※2、 <b>東京都特別区</b> における正規職員※3としての職務経験※4		
行政実務経験 (職歴要件)	直近10年中に行政実務経験が 通算3年以上※5	直近10年中に行政実務経験が 通算5年以上※5	直近10年中に課長補佐相当職以上の 行政実務経験※6が通算5年以上※5

※1「政令指定都市」とは、地方自治法第二百五十二条の十九第一項の指定都市の指定に関する政令で指定された地方公共団体です。

※2「中核市」とは、地方自治法第二百五十二条の二十二第一項の中核市の指定に関する政令で指定された地方公共団体です。

※3「正規職員」とは、国、都道府県、政令指定都市、中核市、東京都特別区における期限の定めのないフルタイム勤務の職員を指します。  
臨時的任用職員や任期付職員等の期限の定めのある職員及び非常勤職員等のフルタイム勤務ではない職員は含みません。

※4「職務経験」とは、週あたり30時間以上の勤務を1年（12か月）以上継続して就業していた期間のことをいいます。

※5 通算する行政実務経験のうち、国または同一の地方公共団体で3年以上継続して就業していた期間が必要です。

※6「課長補佐相当職以上の行政実務経験」とは、国、都道府県、政令指定都市、中核市、東京都特別区における課長補佐、係長及び主査など、国家公務員行政職俸給表(一)4級に相当する職以上の役職において、実務の中核として事業を推進するとともに、部下の育成・活用などを担う職務経験のことをいいます。



## 採用試験・選考を新設します！

### ■ 高等専門学校卒業者採用試験の新設

- ・ 高等専門学校卒業者（20～21歳）を対象とした試験を**新設**します。  
※ 卒業見込みの方も受験可能ですが、受験資格(卒業)を満たさない場合は、受験が無効となります。
- ・ 第2類採用試験（高校卒業程度）より、試験の実施時期や最終合格発表が**早く**なります。  
※ 受験資格要件を満たせば、第2類採用試験と高等専門学校卒業者採用試験は、併願可能です。
- ・ 筆記試験は、**適性検査(SPI3)**テストセンター方式で実施します。専門試験は行いません。  
※ 専門試験に代わり、専門面接で試験区分に関する専門性を確認します。

#### <現行>

試験区分	第2類採用試験 (高校卒業程度)
採用時年齢 (R9.4.1時点)	18～21歳
実施時期	秋実施試験
合格発表	10月下旬
筆記試験	教養試験＋専門試験＋作文試験



#### <新設>

試験区分	高等専門学校卒業者採用試験
採用時年齢 (R9.4.1時点)	20～21歳
実施時期	夏実施試験
合格発表	7月下旬
筆記試験	適性検査(SPI3) テストセンター方式



## 採用試験・選考を新設します！

### ■ 障害者を対象とした採用選考（大学卒業程度）の新設

- ・障害者を対象とした採用選考に**大学卒業程度**の試験区分を**新設**します。  
高校卒業程度の試験区分も従来どおり実施します。
- ・学歴要件はありません。試験内容及び初任給等が異なるため、いずれかを選択して受験可能です。
- ・高校卒業程度と大学卒業程度は**同日に実施**するため、**併願はできません**。  
「障害者を対象とした採用選考」以外の採用試験・選考との併願は可能です。
- ・第1次試験（筆記試験）の実施時期が**9月に変更**となります。  
あわせて、申込期間も**7月に変更**となります。

#### <現行>

試験区分	障害者を対象とした採用選考 行政（ <b>高校卒業程度</b> ）
採用時年齢 (R9.4.1時点)	18～45歳（学歴要件なし）
試験内容	・教養試験（ <b>高校卒業程度</b> ） ・作文試験
初任給等	<b>高校卒業程度</b>



#### <新設>

試験区分	障害者を対象とした採用選考 行政（ <b>大学卒業程度</b> ）
採用時年齢 (R9.4.1時点)	22～45歳（学歴要件なし）
試験内容	・教養試験（ <b>大学卒業程度</b> ） ・論文試験
初任給等	<b>大学卒業程度</b>